

# (旧)京都府総合計画等の 進捗状況について

令和5年8月17日(木)  
京都府総合計画推進会議



京 都 府

**(旧)京都府総合計画**  
・  
**(旧)京都府地域創生戦略**  
**の概要と評価**

# 総合計画及び地域創生戦略の評価について

## ① 京都府総合計画

- ▶ 「京都府行政運営の基本理念・原則となる条例」第4条の規定に基づき、京都府の目指す方向性を将来構想・基本計画等の形で明らかにするもの
- ◆ (旧) 総合計画の計画期間：令和元年10月～令和6年3月末→令和5年3月末  
※計画期間の満了を待たずに、令和4(2022)年12月に改定済。令和4年度が計画の最終年度となる
- ◆ (現行) 総合計画の計画期間：令和5年4月～令和9年3月末

## ② 京都府地域創生戦略

- ▶ まち・ひと・しごと創生法に基づき策定し、地方創生関連交付金等の活用等
- ◆ (旧) 地域創生戦略の計画期間：令和2年4月～令和7年3月末→令和5年3月末  
※総合計画と数値目標の多くを共有していたため、府民にわかりやすいよう体系の簡素化を図り、令和2年度以降、国通知に基づき達成状況を総合計画と一体的に評価・効果検証しているもの
- ◆ 現行の総合計画においては、総合計画が府政運営の羅針盤として、地方創生に関する施策についても定めていることから、まち・ひと・しごと創生法第9条に基づく「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としても位置づけ、今後は、総合計画と一体的に評価

# 総合計画及び地域創生戦略の概要

## ① (旧) 京都府総合計画 (京都夢実現プラン) について

### 【計画概要】

- ◆ 20年後の2040年に実現したい姿として「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして」を掲げた
- ◆ 「将来構想」「基本計画」「地域振興計画」により構成
- ◆ 「基本計画」には、府民協働で取り組む5つの「きょうとチャレンジ」等を示すとともに、94項目の数値目標を設定

### 【評価項目】

- ◆ 令和4年度の実施状況、計画期間内の実施状況 (R1.10 ~ R5.3)

## ② (旧) 京都府地域創生戦略 (第2期) について

### 【戦略概要】

- ◆ 「結婚・出産・子育ての希望が叶う、子育てにやさしい社会をつくる」など4つの基本目標、「多様な人材の活躍を推進する」など2つの横断的な目標を掲げた
- ◆ 「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、「総合計画」とは別立てで策定
- ◆ 第2期への改定に当たり、93項目の数値目標の大半を(旧)総合計画から引用
- ◆ 数値目標を設定したうえで、PDCAサイクルを確立し、取組の効果を毎年客観的に検証

### 【評価項目】

- ◆ 令和4年度の実施状況

**(旧) 京都府総合計画等の  
令和4年度の実施状況**



# 令和4年度の実施状況(数値目標)

- ▶ 基本計画に掲げた数値目標(全94指標・100項目)のうち、対象項目(該当年度の達成率が算出可能な項目)を全体数とし、達成率ごとの項目数の割合を算出
- ▶ 令和4(2022)年の目標数値(参考年間目標)を達成した項目(100%以上)は約30%、70%以上となる項目については約7割となる見通し

目標数値 (参考年間目標) に対する達成率	令和4年度	
	対象項目数	(割合)
	76	(割合)
70%以上	56	(73.7%)
80%以上	48	(63.2%)
90%以上	36	(47.4%)
100%以上	22	(28.9%)

## 【参考：過去の実施状況】

目標数値 (参考年間目標) に対する達成率	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	対象項目数	(割合)	対象項目数	(割合)	対象項目数	(割合)
	78	(割合)	83	(割合)	82	(割合)
70%以上	55	(70.5%)	57	(68.7%)	75	(91.5%)
80%以上	51	(65.4%)	51	(61.4%)	72	(87.8%)
90%以上	43	(55.1%)	42	(50.6%)	62	(75.6%)
100%以上	21	(26.9%)	18	(21.7%)	32	(39.0%)

# 令和4年度の実施状況(数値目標)

8.8現在

## 【参考：分野別の状況】

分 野	指標数	項目数 ※	R4 対象 項目数	参考年間目標の達成率			
				70% 以上	80% 以上	90% 以上	100% 以上
①希望あふれる子育て	6	6	6	6	6	4	2
②夢を実現する教育	4	5	4	4	3	3	3
③安心できる健康・医療と人生100年時代	8	13	8	8	5	2	1
④安心できる介護・福祉の実現	4	4	4	4	4	3	2
⑤人権が尊重される社会	3	3	2	2	2	2	0
⑥男性も女性も誰もが活躍できる社会	4	4	4	3	2	2	1
⑦障害者が暮らしやすい社会	5	5	1	1	0	0	0
⑧留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会	3	3	2	2	2	1	1
⑨コミュニティが大切にされる社会	4	4	4	0	0	0	0
⑩誰もが親しみ夢が広がるスポーツ	3	3	3	3	2	1	0
⑪文化力による未来づくり	4	4	4	4	4	3	2
⑫産業の創出・成長・発展と継承	6	6	4	3	3	3	3
⑬魅力ある観光	4	4	4	0	0	0	0
⑭雇用の安定・確保と人材育成	6	6	5	4	4	3	3
⑮農林水産業の成長産業化	6	6	4	4	4	3	2
⑯しなやかで災害に強い地域	4	4	3	3	3	3	1
⑰犯罪や事故のない暮らし	4	4	2	2	2	1	0
⑱脱炭素社会へのチャレンジ	4	4	0	0	0	0	0
⑲成長・交流・情報・暮らしの基盤づくり	3	3	3	2	2	2	1
⑳もうひとつの京都の推進と地域連携	9	9	9	1	0	0	0
合 計	94	100	76	56	48	36	22

※基本計画に掲げた数値目標94指標のうち、男女別、校種別、部位別に数値目標を掲げている指標について、それぞれを別項目としてカウント



# 令和4年度の主要事業(子育て環境日本一)

約0.2億円

- 01 受容の気持ちをステッカー等で可視化し、子育てにあたたかい気運を醸成する「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の普及啓発の取組を行うため、公共交通機関や府内商店街等でのステッカーの配布やポスター、フラッグの掲出等を実施  
＜プロジェクトステッカー配布数 341,710枚＞

「泣いてもかましまへん！」  
ステッカー



「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」  
ラッピングバス



約0.9億円

- 02 子育てにやさしいまちづくりに取り組む市町村をハード・ソフト両面から包括的に支援  
＜子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金 9地域＞



「木津川市わくわくキッズひろば」の様子

約0.6億円

- 03 子連れコワーキングスペースの設置や時間単位の年休導入など、子育てにやさしい職場づくりを進める企業を支援  
＜職場づくり行動宣言延べ企業数 2,026社（総合計画目標（R5 1,500社）を前倒しで達成）＞



# 令和4年度の主要事業(府民躍動)

約0.1億円

01

京都府生涯現役クリエイティブセンターの支援対象をミドル・シニア層から若者や女性へと全世代型に発展させるとともに、産学公連携の組織を設立し、オール京都でリカレント教育を推進  
〈リカレント教育推進機構参画団体 54団体〉



京都府生涯現役クリエイティブセンター

約0.3億円

02



持続可能な「大学・学生のまち」の実現のため、多様な学生の受入れや、学生の府内定着に取り組む大学への支援など、大学や学生の力による未来の京都づくりを推進  
〈取組を進めた大学 15大学、27事業〉

約1.3億円

03

京都ウィメンズベースやマザーズジョブカフェ等を京都テルサに集結し、女性活躍支援機能を一元化するとともに、コロナ禍で様々な困難・課題を抱える女性への支援をワンストップで実施  
〈マザーズジョブカフェ相談者のうち、  
就職内定者数 1,533人〉



# 令和4年度の主要事業(文化創造)

約57.7億円

01

新行政棟建設及び旧京都府警察本部本館の改修工事を行い、令和4年12月28日に竣工し、令和5年3月27日から文化庁業務開始



新行政棟・文化庁移転施設



文化庁看板除幕式(3月27日)

約2.6億円

文化庁移転の機運醸成を図るため、「伝統文化の夢舞台」など、文化庁と連携し、オール京都体制で京都中を文化で彩る取組を展開  
<「伝統文化の夢舞台」参加者数 1,441人>

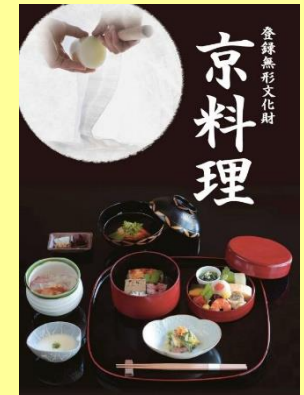
02

約0.1億円

03

「無形文化財」である京料理の価値と魅力を体感する食体験と京都の伝統芸能等の実演等により京料理の魅力を広く発信するフェア等を開催

<京料理博覧会「京料理フェア」参加者数 110人>



# 令和4年度の主要事業(新産業創造・成長)

約4.0億円

01

京都府の文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、起業を促すとともに、次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材育成を行う、オープンイノベーション拠点として、「アート&テクノロジー・ヴィレッジ 京都」を大山崎町に整備



施設外観

約2.6億円

02

「けいはんなサステナブルスマートシティ事業」を実施し、健康データや移動データなどの複数分野のデータを連携・活用するためのデータ連携基盤を構築するとともに、ウェアラブルデバイスとデジタルサイネージを整備し、利用者の行動変容を促し、健康増進・消費促進等を図るスマートライフサービスを実装。



＜ウェアラブルデバイスの貸与数 1,500台＞  
＜サイネージの設置台数 5台＞

約0.3億円

03

府内産農林水産物・加工品(京もの)のブランドに新たな価値を創造・付加し、他産地との優位性を確保するための取組を実施  
＜取組実施数 10件＞



# 令和4年度の主要事業(災害・犯罪等からの安心・安全)

約456億円

01

豪雨等による被災箇所の復旧工事や災害からの安心・安全等に向けた基盤整備を実施



いろは呑龍トンネル (向日市他)



雲ヶ畑 (京都市北区)



H11.6浸水状況 (向日市)

住民の避難行動を促進するため、災害情報をオープン化し、民間事業者等による防災情報アプリの開発等を促進するとともに、関係市町村と連携し、広域避難マニュアル原案を作成するなど、広域避難体制の構築に向けた具体的検討を実施

約0.2億円

02

約3,290億円

03

新型コロナウイルス感染症に対し必要な対策を講じ、府民生活の安心を確保  
〈診療・検査医療機関等への抗原定性検査キット配布実績

1,023医療機関、26市町村〉

〈病床確保等への助成件数 129件〉



**(旧) 京都府総合計画等の  
計画期間内の実施状況**  
(R1.10 ~ R5.3)





# 【総括】 計画期間内の実施状況(数値目標) (R1.10～R5.3)

## 【実施状況 (R1～R4の総括)】

新型コロナウイルス感染症の影響による数値変動が大きかったため、以下2つの方法で計画期間全体としての実施状況 (R1～R4の総括) を算定

### 算定方法

#### 総括①：達成率の最高値で算定

→コロナ禍前の数値が継続するものと想定し、R1～4で達成率の最高値を採用

#### 総括②：①のうち、最新値の達成率が70%未満の指標 (17項目) を、最新値に置き換えて算定

→コロナの影響を加味せず、回復しきっていない現状である最新値を採用

【例 示】

指標名称	単位	達成率			
		R1	R2	R3	R4
京都府域の観光 入込客数	万人	R1 最高値 97.7	R2 56.6	R3 52.1	R4 最新値 64.3
		置き換え			

【状況概要】

総括①：最良値ではあるが100%以上は約50%、70%以上は9割超とかなり高い。

総括②：コロナの影響を大きく受けた観光や地域コミュニティなどの関連指標は、回復しきっておらず、①より2割程度減少するものの、達成率70%以上となる項目は7割を超える。

目標数値 (参考年間目標) に対する達成率	総括①		総括②	
	対象項目数	(割合)	対象項目数	(割合)
70%以上	95	(93.7%)	72	(75.8%)
80%以上	86	(90.5%)	71	(74.7%)
90%以上	75	(78.9%)	63	(66.3%)
100%以上	47	(49.5%)	43	(45.3%)

# 【総括①】計画期間内の実施状況(分野別)

8.8現在

## 【参考：総括①（計画期間全体）で見る分野別の状況】

分 野	指標数	項目数 ※	対象 項目数	参考年間目標の達成率			
				70% 以上	80% 以上	90% 以上	100% 以上
①希望あふれる子育て	6	6	(6)	6	6	6	4
②夢を実現する教育	4	5	(5)	5	5	5	5
③安心できる健康・医療と人生100年時代	8	13	(9)	9	9	6	2
④安心できる介護・福祉の実現	4	4	(4)	4	4	4	3
⑤人権が尊重される社会	3	3	(3)	2	2	2	1
⑥男性も女性も誰もが活躍できる社会	4	4	(4)	4	3	2	2
⑦障害者が暮らしやすい社会	5	5	(5)	4	4	4	3
⑧留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会	3	3	(3)	3	3	2	2
⑨コミュニティが大切にされる社会	4	4	(4)	2	2	2	2
⑩誰もが親しみ夢が広がるスポーツ	3	3	(3)	3	3	2	0
⑪文化力による未来づくり	4	4	(4)	4	4	3	2
⑫産業の創出・成長・発展と継承	6	6	(6)	5	5	4	3
⑬魅力ある観光	4	4	(4)	3	3	3	1
⑭雇用の安定・確保と人材育成	6	6	(6)	6	5	4	3
⑮農林水産業の成長産業化	6	6	(6)	6	6	6	4
⑯しなやかで災害に強い地域	4	4	(4)	4	4	4	2
⑰犯罪や事故のない暮らし	4	4	(4)	4	4	4	4
⑱脱炭素社会へのチャレンジ	4	4	(3)	3	2	2	0
⑲成長・交流・情報・暮らしの基盤づくり	3	3	(3)	3	3	3	2
⑳もうひとつの京都の推進と地域連携	9	9	(9)	9	9	7	2
合 計	94	100	95	89	86	75	47

※基本計画に掲げた数値目標94指標のうち、男女別、校種別、部位別に数値目標を掲げている指標について、それぞれを別項目としてカウント

# 【総括②】計画期間内の実施状況(分野別)

8.8現在

## 【参考：総括②（計画期間全体）で見る分野別の状況】

分 野	指標数	項目数 ※	対象 項目数	参考年間目標の達成率			
				70% 以上	80% 以上	90% 以上	100% 以上
①希望あふれる子育て	6	6	(6)	6	6	6	4
②夢を実現する教育	4	5	(5)	5	5	5	5
③安心できる健康・医療と人生100年時代	8	13	(9)	9	9	6	2
④安心できる介護・福祉の実現	4	4	(4)	4	4	4	3
⑤人権が尊重される社会	3	3	(3)	2	2	2	1
⑥男性も女性も誰もが活躍できる社会	4	4	(4)	3	3	2	2
⑦障害者が暮らしやすい社会	5	5	(5)	4	4	4	3
⑧留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会	3	3	(3)	2	2	2	2
⑨コミュニティが大切にされる社会	4	4	(4)	0	0	0	0
⑩誰もが親しみ夢が広がるスポーツ	3	3	(3)	3	3	2	0
⑪文化力による未来づくり	4	4	(4)	4	4	3	2
⑫産業の創出・成長・発展と継承	6	6	(6)	5	5	4	3
⑬魅力ある観光	4	4	(4)	0	0	0	0
⑭雇用の安定・確保と人材育成	6	6	(6)	5	5	4	3
⑮農林水産業の成長産業化	6	6	(6)	6	6	6	4
⑯しなやかで災害に強い地域	4	4	(4)	4	4	4	2
⑰犯罪や事故のない暮らし	4	4	(4)	4	4	4	4
⑱脱炭素社会へのチャレンジ	4	4	(3)	3	2	2	0
⑲成長・交流・情報・暮らしの基盤づくり	3	3	(3)	2	2	2	2
⑳もうひとつの京都の推進と地域連携	9	9	(9)	1	1	1	1
合 計	94	100	95	72	71	63	43

※基本計画に掲げた数値目標94指標のうち、男女別、校種別、部位別に数値目標を掲げている指標について、それぞれを別項目としてカウント

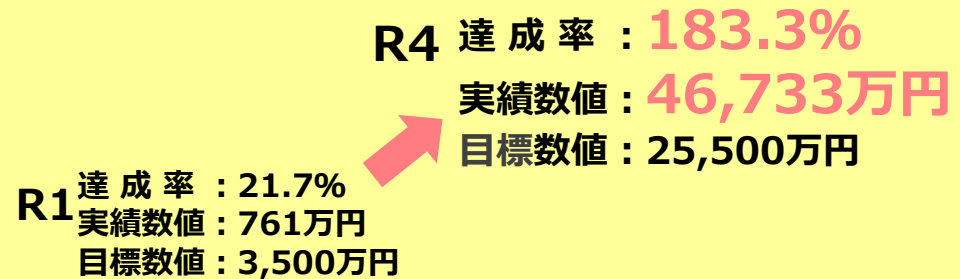
# 【総括】目標数値を上回った特徴的な項目

## 【主な指標ごとの結果】

- ▼ 一時は新型コロナウイルス感染症等の影響を大きく受けつつも目標数値（参考年間目標）を達成した指標

### 府内のアートフェア等における販売額

- ・ 継続的にアートフェアを開催してきたことで、クオリティや信用度が上がり、参加者が増加
- ・ 日本を代表するコレクターをはじめ、海外の富裕層など、国内外からの来場者が増加



- ▼ 新型コロナウイルス感染症等の影響下でも継続的に目標数値（参考年間目標）を達成した指標

### 子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数（累計）

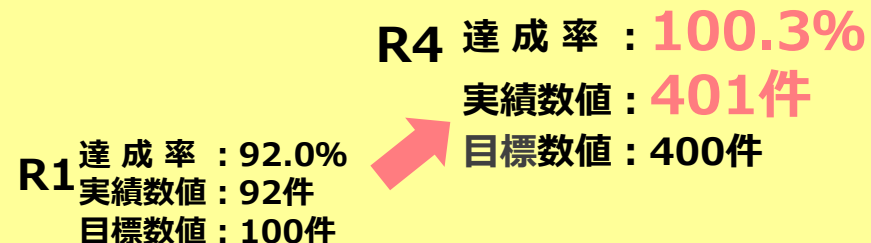
- ・ 「子育てにやさしい職場づくり事業」として、多様な働き方や、就労環境の改善に努めるなど、企業改革を促進
- ・ 子育て支援制度（補助金等）や活用事例等を周知するとともに、職場づくり行動宣言を呼びかけ



- ▼ 過去未達だったが、最終年度に目標数値（参考年間目標）を達成した指標

### 新たに農商工連携・6次産業化に取り組んだプロジェクト数（累計）

- ・ 農林漁業者のチャレンジを支援し、農林水産物の新商品・新サービスの開発を促進
- ・ 2021年11月に立ち上げた「京都食ビジネスプラットフォーム」により農林漁業者と企業のマッチングを促進



# 【総括】新型コロナウイルス感染症等の影響が大きい項目

## 【主な指標ごとの結果】

- ▼ 新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、令和2年度以降の達成率が大幅に低下し、目標数値（参考年間目標）を達成できなかった指標

### 地域の様々な課題に対応する団体（自治会、NPOなど）の活動に参画している人の割合

- ・一部の団体では事業のオンライン化、感染対策の徹底等によりコロナ禍に応じた活動を実施してきたが、令和2年度以降、多くの自治会、NPOの活動がコロナ禍以前より縮小したため、目標数値を達成できなかった。

R1 達成率：100.0%  
実績数値：28.5%  
目標数値：28.5%

#### 【今後の取組】

- ▶ 地域課題の解決に取り組む地域活動団体の活動を支援する地域交響プロジェクトとの連携により、参画率の向上に努める。

R4 達成率：68.6%  
実績数値：25.4%  
目標数値：37.0%

### 京都府内の国際会議開催件数

- ・国内での移動制限や海外からの入国制限が行われたことにより、国際会議の開催が困難な厳しい状況が続いた。
- ・令和4年10月に水際対策が緩和され、京都文化交流コンベンションビューローによる誘致活動などで、開催数もようやく回復を見せはじめたが、目標数値を大きく下回る結果となった。

R1 達成率：105.5%  
実績数値：405件  
目標数値：384件

#### 【今後の取組】

- ▶ 国際会議をはじめ、招聘旅行等の誘致促進に努める。

R4 達成率：17.5%  
実績数値：76件  
目標数値：435件

### 海の京都、森の京都、お茶の京都3DMOによる旅行商品取扱額

- ・渡航・移動制限と旅行需要の落ち込みが続いた中、誘客キャンペーン等の実施により需要喚起を図ったが、目標数値の達成には至らなかった。

R1 達成率：106.1%  
実績数値：6,008万円  
目標数値：5,660万円

#### 【今後の取組】

- ▶ 地域資源を生かした体験型観光を拡大するとともに、DMO間や隣接府県の観光協会等とも連携した観光商品づくりを進める。

R4 達成率：31.2%  
実績数値：2,497万円  
目標数値：8,000万円

# 【総括】 1 「子育て環境日本一」 きょうとチャレンジ 取組状況

## 【総括】

参考資料2 参照

2040年に全国平均並みの合計特殊出生率をめざし、行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し、「子育て」の視点から社会を変革するため、「きょうと子育て環境日本一サミット」の開催をはじめ、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の実施、「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」や「ワークチェンジ塾」開設等の取組を進めた。

## 【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標 (2022年度)	実績数値 (2022年度) (達成率：%)	計画期間内で 最高値となる 達成率 (%)
住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合	%	82.6 (2019年度)	90.0	90.0	80.6 (89.6)	83.4 (92.7)
子育てに喜びや楽しみを感じている親の割合	%	96.0 (2019年度)	96.0以上	96.0以上	93.7 (97.6)	96.3 (100.3)
子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数（累計）	社	—	1,500 ※目標達成	1,200	2,026 (168.8)	1,642 (182.4)
子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	%	89.5 (2019年度)	90.0以上	90.0以上	85.9 (95.4)	90.4 (100.4)

## 計画期間内の主な成果

参考資料2 参照

「京都府子育て環境日本一推進会議」の設置（令和3年6月）

「きょうと子育て環境日本一サミット」の開催（令和3年11月）  
（開催日：令和3年11月3日 参加者：約5,000人）

「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の普及啓発の実施（令和3年度開始）  
（ステッカー配布数341,710枚、公共交通機関等での広告の掲出 など）

府内の商店街や企業の店舗等を「きょうと子育て応援施設」と位置づけ、  
子ども同伴での外出を応援（令和2年度開始）（実施店舗・施設数 790店舗・施設）

「子育て企業サポートチーム」による「子育て環境日本一に向けた  
職場づくり行動宣言」の取組の府内企業への展開（令和元年度開始）  
（多様な働き方推進事業費補助金活用企業数（累計）446社・9グループ）

不妊治療に係る通院交通費の負担軽減制度の創設（令和2年10月）  
（通院交通費助成件数（累計）801件）



## 【総括】

人生100年時代を見据え、府民の誰もが生きがいを感じることができる共生社会づくりを進めるため、「京都府生涯現役クリエイティブセンター」や「女性活躍応援塾」の開設をはじめ、「京都式農福連携・6次産業化プロジェクト」や「スポーツのメッカづくりプロジェクト」の実施、「産学公連携海外人材活躍ネットワーク」の創設等に取り組んだ。

## 【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目標 (2022年度)	実績数値 (2022年度) (達成率：%)	計画期間内で 最高値となる 達成率 (%)
趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	%	72.6 (2019年度)	80.0	80.0	71.9 (89.9)	73.3 (91.6)
高齢者の有業率	%	25.9 (2017年)	31.0 (2022年)	31.0 (2022年)	2023年8月頃 公表予定	—
仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合	%	52.2 (2019年度)	70.0	70.0	52.4 (74.9)	56.0 (80.0)
ワーク・ライフ・バランス認証企業数 (累計)	社	407	650	600	591 (98.5)	457 (101.6)

## 計画期間内の主な成果

「京都府生涯現役クリエイティブセンター」の開設（令和3年8月）

（キャリア相談件数（累計）：513件 リカレント研修受講者数（累計）：4,497人）

女性活躍応援塾の開設（令和3年8月）

（参加者数（累計）6団体、2個人）

「京都式農福連携・6次産業化プロジェクト」として

「チャレンジ・アグリ地域連携課程」を創設（令和4年4月）

「スポーツのメッカづくりプロジェクト」として

MS&AD CUP 2021なでしこジャパン国際親善試合（令和3年7月）  
をはじめとする国際的・全国的な試合の誘致・開催

「京都産学公連携海外人材活躍ネットワーク」の創設（令和2年4月）

## 【総括】

参考資料2 参照

地域文化を大切にするとともに新しい文化が生まれ続け、地域に活力を生み出す社会づくりを、文化庁が本格移転する京都から進めるため、府立高校との連携による次世代への文化継承をはじめ、「障害者アート創造・発信プロジェクト」や「文化財保存・活用促進プロジェクト」の実施、「京都国際アートフェア」の開催等に取り組んだ。

## 【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標 (2022年度)	実績数値 (2022年度) (達成率：%)	計画期間内で 最高値となる 達成率 (%)
府内のアートフェア等に参加する若手アーティスト（40歳以下）の数	人	108	160 ※目標達成	150	162 (108.0)	149 (124.2)
府内のアートフェア等における販売額	万円	2,515	33,000 ※目標達成	25,500	46,733 (183.3)	46,733 (183.3)
文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合	%	57.8	70.0	70.0	62.7 (89.6)	62.7 (89.6)
歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合	%	84.9 (2019年度)	90.0	90.0	84.4 (93.8)	84.9 (94.3)

## 計画期間内の主な成果

「京の文化継承・価値創造推進校」を指定し、茶道や華道、古典に関する講義や作法を通して、規範意識や思いやりの心を学ぶ授業を実施（令和2年度開始）

（京の文化継承・価値創造推進校：清明高等学校ほか17校）

京の食文化ミュージアム・あじわい館に、京の食文化の語り部を設置し、京の食文化等の魅力を学び・体験する場を提供

「きょうと障害者文化芸術推進機構」での企画展やデジタルアーカイブ事業を通じて、作家と作品購入希望者とをつなぐとともに、様々な角度から魅力を発信

（デジタルアーカイブとして約3,800点の作品を掲載（令和4年度末時点））

「京都音楽祭～府民とつくるミュージックフェスティバル～」の開催  
（令和5年2月）

「Art Collaboration Kyoto」の開催（令和2年度開始）

（開催期間：令和4年11月18日～20日 入場者数：16,541人（令和4年度実績））

## 【総括】

参考資料2 参照

企業のスタートアップから成長、継承まで、イノベーションが起こり続ける最適な事業環境の創造を京都から進めるため、「起業するなら京都・プロジェクト」を創設し、オール京都で起業創出支援の充実等を戦略的に推進するとともに、中小企業の海外展開・成長・事業承継への支援、「観光プロジェクト」による高度人材の育成、スマート農林水産業の推進や「環境イノベーション創出プロジェクト」等に取り組んだ。

## 【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標 (2022年度)	実績数値 (2022年度) (達成率：%)	計画期間内で 最高値となる 達成率 (%)
従業者1人当たりの付加価値額（製造業）	千円	15,168 (2018年)	21,000 (2023年)	19,800 (2022年)	公表時期 未 定	15,775 (97.4)
開業率	%	4.3 (2016年)	5.1 (2021年)	—	公表時期 未 定	4.5 (88.2)
海外ビジネスセンターを通じ新たに海外展開に取り組んだ企業数（累計）	社	10	100 (2019～ 2023年度) ※目標達成	80	165 (206.3)	165 (206.3)
農林水産業の産出額	億円	786 ※2013年～ 2017年の5年間 における最大最 小を除いた3年 平均	820 (2023年)	815 (2022年)	2024年 3月頃 公表予定	775 (97.7)

## 計画期間内の主な成果

参考資料2 参照

「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立（令和元年12月）し、  
起業創出支援等を推進

（スタートアップ企業設立数（累計）188件）

京都府の文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな  
産業創造拠点「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」の整備（令和5年3月）

京都海外ビジネスイノベーション交流会等のセミナーを通じて、海外販路開拓  
事業の活用を進めるとともに、事業者同士のネットワークを構築（令和元年度開始）

（「京もの海外常設店・コーナー」設置数39カ所）

新たな観光需要に対応できる高度観光人材の育成に向けたセミナー等の実施

（観光おもてなし人材育成セミナー 参加者数（累計）237人）

農林水産業におけるスマート技術の導入支援や相談窓口の設置（令和元年度開始）

（スマート関連技術導入件数（累計）121件）

京都府・京都市・総合地球環境学研究所の3者で「京都気候変動適応センター」  
を設置し、気候変動影響に関する情報収集、分析、発信等を実施（令和3年7月）

# 【総括】 5 「災害・犯罪等からの安心・安全」 きょうとチャレンジ 取組状況

## 【総括】

参考資料2 参照

災害や犯罪等から府民の命と財産を守るため、AI等の活用によりハード・ソフト一体となった最先端の危機管理・安心安全体制を構築するため、河川改修やトンネルの整備及び機能拡充等の防災基盤づくりをはじめ、危機管理センターの整備や「逃げ遅れゼロ・プロジェクト」の実施、犯罪防御システムの活用による地域防犯力の向上や子供が安心して通行できる交通環境の整備等に取り組んだ。

## 【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目標 (2022年度)	実績数値 (2022年度) (達成率：%)	計画期間内で 最高値となる 達成率 (%)
災害時声掛け隊の人数（累計）	人	—	500 ※目標達成	400	528 (132.0)	374 (374.0)
刑法犯認知件数	件	16,821 (2018年)	15,000以下 (2023年) ※目標達成	—	10,578 (2022年)	10,483 (103.1)
年間の交通事故死者数	人	52 (2018年)	40以下 (2025年)	—	45 (2022年)	49 (102.0)
			50以下 (2020年) ※目標達成			

## 計画期間内の主な成果

国・府・京都市が連携し進めてきた嵐山左岸溢水対策の完成 (令和3年度)

弘法川及び法川における総合的な治水対策の概成 (令和2年度)

「いろは呑龍トンネル」について南幹線・呑龍ポンプ場の供用開始 (令和4年3月)

危機管理の指令本部となる「危機管理センター」の整備 (令和4年度)

京都大学との共同研究により、最先端技術を活用した  
「水位・氾濫予測システム」の開発に着手 (令和3年度)

※令和5年6月から、市町村等と精度等の検証を開始

犯罪防御システムとGIS交通事故分析システムを統合し、防犯・交通安全の  
一元的対策を推進 (令和3年度開始)